

当院にてぶどう膜炎でご加療中の方へ

当院では「ぶどう膜炎に対する薬物療法、手術療法の治療成績に関する後向き研究」を行っております。この研究はぶどう膜炎の治療成績を経時的に調査・研究するもので、東京大学医学部附属病院眼科で行っております。

【対象となる方】

2015年1月1日から2016年12月31日の間に本院眼科でぶどう膜炎と診断された患者様。

【研究の意義】

これまででもぶどう膜炎の治療成績については様々な調査がなされてきましたが、治療法は年々進歩しており、新たな調査を続けていく必要があります。現在、どのような原因のぶどう膜炎が多いのか、どのような治療が行われ、どのような治療成績であったのかを調査することは、今後の治療法を考える上で非常に重要な情報になります。

【研究の目的】

現在、当院に通院中のぶどう膜炎の患者様の薬物療法、手術療法の治療成績を明らかにすることです。

【研究の方法】

この研究は、現在、東京大学附属病院眼科にぶどう膜炎で通院中の患者様が、これまでに当院で受けてこられた視力検査、眼圧検査、視野検査などのデータを収集して、様々な治療法の有用性や副作用、合併症などを検討することを目的としています。具体的には、当院のカルテに記載されている患者様の年齢、性別、病名、視力、眼圧、視野検査、治療薬などを記録し、多数の患者様のデータをまとめて統計的に検討します。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしい場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで平成30年3月31日までに御連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示します。下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

平成29年12月

【研究機関名】

東京大学医学部附属病院眼科 講師 蕪城 俊克 (主たる研究者、統括、データ収集)

東京大学医学部附属病院眼科 助教 田中 理恵 (データ収集)

東京大学医学部附属病院は分担研究施設に登録しています。

本研究に経費は必要としませんが、もし必要な場合には、蕪城 俊克の委任経理金より拠出します。尚、あなたへの謝金はありません。

【問い合わせ、苦情等の連絡先】

東京大学医学部附属病院・眼科 講師 蕪城 俊克 (かぶらき としかつ)

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411 (内線 37499) FAX：03-3817-0798

Eメールでのお問い合わせ：kabutosi-tky@umin.ac.jp

医療機関名 東京大学医学部附属病院

診療科名 眼科 診療科責任者名 教授 相原 一